

# 海から・陸から多彩に

## 第60回 “社会を明るくする運動”



▲「社会を明るくする運動」一同揃う

# 射水 更生 保護

発行・編集

射水保護司会

会長 米澤 治夫

TEL 0766-52-4321

〒934-8555

射水市本町2丁目10番30号

射水市福祉保健部 社会福祉課内

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をめざして

「社会を明るくする運動」の強調月間中の七月十九日(月)海の日、総帆展帆等、様々な行事があり、多くの人で賑わう海王丸パークを会場に、犯罪や非行のない明るい社会と、不幸して罪を犯した人の更生保護、薬物乱用防止などの街頭広報活動を繰り広げました。

当日は、保護司三十三名、更生保護女性会員十二名及び関係者の皆さんで、街頭広報を展開しました。

一同で資料等袋詰めの後、今年新しい企画として、「社会を明るくする運動」の桃太郎旗や、横断幕を張った船の上より、街頭広報活動を行いました。約三十分、海上からの活動後、陸上で、例年通り、

この運動の啓発関係資料を配布し、更生保護等の大切さと理解を訴えました。

松岡射水市福祉保健部長も応援に駆けつけていただき、一同意を強



▲ 袋詰め作業をする会員

くすると同時に、改めてこの運動の大切さを痛感しました。

最後に、瀧下富山保護観察所射水担当保護観察官の挨拶があり、互いに労いの言葉を掛け合い、当日の活動を終了しました。



▲ 船上で街頭宣伝



この機関紙は一部共同募金の配分金を受けて作成しました。

# 決意も新たに 平成二十二年度 射水保護司会総会開催

平成二十二年度射水保護司会の定期総会は去る四月二十三日(金)、午後二時より射水市小杉社会福祉会館に於いて開催されました。

当日は、来賓として富山保護観察所小椋企画調整課長、瀧下射水担当保護観察官、夏野射水市長、四柳射水市議会議長、松岡射水市福祉保健部長、島射水市社会福祉課長、野上射水警察署副署長、宮城射水市社会福祉協議会副会長、岩口射水市更生保護協力会長、山本射水地区更生保護協力雇用主会長、新中射水更生保護女性会長、射水市小、中学校各校長会長、名誉保護司会員等多数のご臨席のもとに開催されました。



▲ 来賓 夏野市長・あいさつ

開会宣言の後、物故者への黙祷、保護司信条の朗唱と続き、米澤会長あいさつの中では、来年に迫った富山県シンポジウムにふれ、市長へ理解と、協力を訴えました。富山保護観察所小椋企画調整課長のあいさつ、来賓の祝辞、紹介と続き、議長に青木保護司を選出、議事に入り過年度事業報告及び決算報告のあと役員改選にはいり、昨年五月に棚元理一前会長が定年、更に竹林眞昭保護司、石黒善昭保護司から役を後進に譲りたいとの申し出により暫定的な役員構成になつていた状態を、平成二十二・二十三年度からの新役員をもって新たな体制めざしたものが承認されました。さらに二十二年度事業計画及び予算案を承認し総会は滞りなく終了しました。

## 平成二十二〜二十三年度

### 役員

会長 米澤 治夫

副会長 五十嵐繁久

理事 江尻 昭

川口和香子

新中 孝子

高松 徹

眞岸 勝彦

渡辺八重子

監事 谷口 繁

梅崎 一江

海内 貞行

北村 外雄

炭谷 幸子

寺腰 健一

三宅 陸夫

鈴木 光正

### 専門部会

総務部会長 川口和香子

研修部会長 高橋 禮子

副部会長 炭谷 幸子

副部会長 眞岸 勝彦

書記 藍口 信子

広報部会長 寺腰 健一

副部会長 林 弥生

協力組織部会長 新中 孝子

副部会長 江尻 昭

地域活動部会長 三宅 陸夫

副部会長 大浜 晴彦

学校部会長 北村 外雄

副部会長 渡辺八重子

事務局長 海内 貞行

事務局次長 高松 徹

## 設立五年目を迎えて

射水保護司会会長 米澤 治夫



射水市の誕生により保護司会も旧新湊と旧射水が合併し射水保護司会が設立され、はや五年。新しい命の誕生には困難なこともありましたが、もともと両保護区はすばらしい先輩が存在し、更生保護事業の推進に情熱と熱意を傾け、市町村との協力体制をいち早く築き、事業実施をしてきました。その例として新湊・射水中学生生活体験発表大会の合同事業です。今年で二十九年目を迎えました。このことは、他地区にも参考になると思いますので紹介します。

まず、学校部会の創設です。この部会は県はおろか、全国でも珍しい部会だと思えます。市教育委員会と保護司会との定期懇談会、現場である七中学校と十三小学校との随時の意見交換。主として担当学校の保護司がその任に当たる。その集大成が「社会を明るくする運動」の一環事業として小中学生の作品集を定期発刊。延べ千八百人を超える参加を頂き、その一部の優秀作品を文集として収録したものです。作品を通じて児童・生徒の非行防止と健全育成に思いを馳せ、教育関係機関との更生保護に関するネットワークを



緊密にしてゆきたいと念じております。もうひとつは、協力組織部会による就労支援事業です。平成十九年から企画・立案し二十年に協力雇用主会を県下で始めて立ち上げました。就労者は無職者より再犯率が極めて低いというデータがあり、就労の手助けをすれば、少しでも犯罪のない明るい社会の建設作りの一助にしたいという願いを込めたものです。最後に、私たち射水保護司会として最も重要課題は、平成二十三年七月に『富山県更生保護シンポジウムイン射水』が小杉のラポールで開催されることです。現在、準備委員会として立ち上げ今迄五回開催しました。成功裡に治めるためには、射水保護司会・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会ひいては県下の更生保護関係者に御協力をお願いしなければなりません。どうか重ねてお願いいたします。

### 更生保護活動への期待

射水市長 夏野元志



夏の太陽が燦々と降り注ぎ、朝顔や向日葵といった花々が色鮮やかにまちを彩る季節を迎えています。

保護司会の皆様をはじめ、日ごろ更

生保護活動に携わっておられる皆様には、非行や罪を犯した人たちの立ち直りへの支援や就労支援、また、地域の青少年の健全育成や防犯活動等に大変献身的に取り組んでいただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝を申し上げます。

ご案内のとおり本市では、関係の皆様懸命なご尽力により、平成十四年度をピークに犯罪の発生件数は一貫して減少し続けております。しかしながら、少年の補導件数につきましては、ここ三年で約三十六%増加したというデータもあり、今後の動向が大変気になるところでもあります。

こうした情勢の中、将来にわたって犯罪や非行のない明るい地域社会をつくり上げていくためには、皆様をはじめ、家庭や学校、関係機関・団体など地域社会が一丸となって総合的な活動を展開していくことが極めて重要であります。

とりわけ保護司会の皆様には、更生保護活動の中心的な役割が期待されており、今後とも更生保護の意義を伝える啓発活動や地域におけるネットワークづくり、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお本年は、戦後間もない昭和二十六年から今日まで、連続で開催されてまいりました「社会を明るくする運動」が第六十回目を迎える節目の年であり

本市といたしましたとしても、諸先輩方が築き上げてこられた伝統をしっかり受け継ぎながら、本運動のさらなる推進を図ってまいれる所存であります。

最後に、射水保護司会をはじめ関係の皆様今後ますますのご発展と、一層のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

### 着任のごあいさつ

富山保護観察所 射水担当保護観察官 瀧下光夫



季節が大暑に移り、セミの鳴き声も大きくなり、夏本番を感じるころとなりましたが、皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より更生保護行政には、特段のご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、私事ですが、今春の人事異動により、名古屋保護観察所から転動してきました。早いもので転動してから四月ほど経ちましたが、この間、難もなく業務を勤めさせていただきました。これも偏に皆さまの真摯な取組のお陰であり、これに比べられるよう一層業務に励む所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。

当地での勤務は初めてとなりますが、出身は石川県であり、またよく子どもを連れて、海王丸パークや大島絵本館を訪ね、今ごろの季節なら太閤山ランドにも遊びに連れて来ていました。子どもの成長と重なる思い出が多く残ることもあって、当地区には、以前から親しみがり、このような中で、皆さま方のお仲間に入らせていただき、一緒に仕事できることを大変嬉しく思っています。

当官署には、四年前に配属されたこともあって、まだまだ経験に浅く、皆さまから教えていただきたいことが沢山あります。どうぞ叱咤激励のほどお願いします。

### 社会を明るくする運動について



#### 社会を明るくする運動とは？

この運動は、昭和24年戦後の荒廃の中、東京・銀座の商店街の有志の方々が街にあふれる子どもたちの将来を危惧して、非行の予防等を広く訴えようと開催した「銀座フェア」をきっかけとして昭和26年に始まりました。

その後、法務省の主唱により毎年7月を強調月間として全国で展開され、今回で60回を迎えます。

「社会を明るくする運動」は、全国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

平成二十一年度  
射水市更生保護女性会総会開催

四月二十八日(水)、午後二時より射水市中央公民館三階(第三研修室)に於いて平成二十二年度射水市更生保護女性会総会が開催されました。

開会のことばに次いで、会員綱領唱和、挨拶の中で、新中孝子会長は人生の経験を生かしながら、女性らしさ、やさしさ、気配りの中で、出来る事を出来るときにやって行かなければならない。皆さんの協力をお願いしたいと述べました。

来賓祝辞及び紹介があり、役員改選報告、議長選出、議事、と総会は滞りなく終了し、平成二十二年度がスタートしました。

研修に入り、ビデオ「一緒に歩いて行こう」を鑑賞、「ひまわりの譜」を全員で歌い、心がひとつになりました。



▲ 新中会長のあいさつ

第六十回「社会を明るくする運動」

射水市推進委員会開催

七月の「社会を明るくする運動」の強調月間を前に、去る六月二十二日(火)、射水市中央図書館を会場に、第六十回「社会を明るくする運動」射水市推進委員会が開催されました。

推進委員長・夏野射水市長、小椋富山保護観察所企画調整課長、主唱者・米澤射水保護司会長の挨拶があり、海内事務局長より、第五十九回(平成二十一年度)「社会を明るくする運動」実施結果報告、第六十回「社会を明るくする運動」行事実施計画案等について審議し、承認されました。



▲ 会議に先立ってあいさつする夏野市長

法務大臣・知事メッセージ伝達

第六十回「社会を明るくする運動」の始まりを告げる七月一日(木)、

十一時より射水市小杉庁舎・市長室に於いて第六十回「社会を明るくする運動」法務大臣及び知事メッセージの伝達式が行われま



した。五十嵐、梅崎、副会長、海内事務局長、高松事務局長、長立ち会いのもと、米澤射水保護司会長が声高らかにメッセージを読み上げ、厳粛な空気の中、滞りなく終了しました。



◀ 市長・市議会議長メッセージの伝達

市長への伝達に先立ち、同日十時より新湊庁舎・市議会議長室に於いて、四柳市議会議長へも同様メッセージ伝達が行われました。

第二十九回

射水市中学生生活体験発表大会開催  
竹内郁恵さん(新湊南部県大会へ)

五月二十七日(木)、今年で、二十九回目を迎える射水市中学生生活体験発表大会が射水市立小杉中学校体育館を会場に開催されました。

当日は、同校生徒会の司会により進められ、米澤射水保護司会会長の開会のことば、谷川射水市中学校校長会会長の激励のことば、発表上の注意等のもと、抽選により決められた順に従い市内七校の代表が持ち時間五分間のあいだにそれぞれの体験の中で、学び感じた事を発表しました。



▲ 当日発表のみなさん



■ 発表者及び演題（発表順）

学校名	学年	発表者氏名	題名
奈古	3年	山田 梓	笑顔をとりにどす旅へ
小杉南	2年	松田 浩佳	努力というもの
小杉	3年	佐伯 桃世	相手の視点に立って
大門	2年	橋爪 仁美	支え合うことで…
射北	2年	小山内 ゆりえ	最高の笑顔を見せてください
新湊西部	3年	麻生 百音	かけがえのない存在、大切にしよう
新湊南部	3年	竹内 郁恵	摂食障害を乗り越えて

星野正義射水市教育委員会教育次長のほか四人の保護司が審査にあたり、厳正な審査が行われ、二十分の休憩の後、星野正義射水市教育委員会教育次長の講評に引き続き、審査結果の発表が行われ、「摂食障害を乗り越えて」と題して発表した新湊南部中学校三年の竹内郁恵さんが県大会へ市代表として選ばれました。

県大会はボルファートとやまを会場に七月十日（土）、午後一時より開催されます。健闘を祈りたいものです。

※県大会の記事をご覧ください。

**富山県知事賞に竹内さん**  
**富山県中学生生活体験発表大会**

「社会を明るくする運動」第四十八回富山県中学生生活体験発表大会は去る七月十日（土）、午後一時より富山市のボルファートとやままで開催され、県下十七の地区から選ばれた代表者により、熱弁が繰り広げられました。

年々発表のレベルは向上しており、今年は身振り、手振りを交えての発表で、いずれも甲乙付け難いものでした。



▲ 発表中の竹内さん

山崎県厚生部参事厚生企画課長、有島県教委西部教育事務所指導主事ら七人の審査員が審査の結果、射水市代表、竹内郁恵さん（新湊南部中学校三年）が富山県知事賞に輝きました。

竹内さんは、軽い気持ちから始めたダイエットが後に、摂食障害という実はたいへんな事になったこと、家族の協力で克服、同じ思いをしないようにと訴え、会場の人々に共感と感動を呼びました。



▲ 代表して受賞する竹内さん

最高賞の富山県知事賞は昨年に引き続き連続の受賞で、応援に駆けつけた関係の人達からは異口同音、「良かった、良かった」との声が聞かれました。

**富山県シンポジウム**  
**黒部で開催**

梅雨明け待ちの、七月十一日（日）、黒部市国際文化センターカラーレカターホールに於いて、第六十回「社会を明るくする運動」富山県シンポジウムが開催されました。

射水保護司会では、来年に迫った射水でのシンポジウムの参考にと更生保護女性会員、保護司合わせて二十余名が参加しました。



※射水保護司会では目下準備委員会を中心に今まで、五回の準備委員会もち検討中で、概要について、近いうちにお知らせできるものと思われま



◆事務局日誌◆

- 平成22年 4月13日 第一回理事会(協議事項・総会各部会)
- 23日 平成22年度定期総会各部会
- 5月11日 第3回シンポジウム打合せ会
- 18日 第一期地域別定期研修会
- 25日 第4回シンポジウム打合せ会
- 27日 射水市中学生生活体験発表大会
- 6月3日 地域活動部会協議会
- 22日 第60回社明運動射水市推進委員会
- 29日 第5回シンポジウム打合せ会
- 7月1日 法務大臣・知事メッセージ伝達
- 4日 6・26ヤング街頭キャンペーン(炭谷・新中参加)
- 10日 第48回富山県中学生生活体験発表大会
- 11日 第60回社会を明るくする運動富山県シンポジウム
- 19日 第60回社会を明るくする運動街頭広報活動
- 27日 第二期地域別定期研修会

部会だより

○総務部会

「住みやすい地域社会づくりをめざして」第61回社会を明るくする運動、富山県シンポジウムin射水を平成23年7月10日、射水市アイザック小杉文化ホールでの開催に向けて、今まで第5回の準備委員会を重ねています。

開催趣旨、PR方法、パネラーの人选等に奮闘しています。これから日々難問題にぶちあたり準備委員会を開催することになると思います。皆様のご知恵とご協力をお願いいたします。そして皆で射水でのシンポジウムが成功に開催されますよう頑張りたいと思っています。

○研修部会

「富山刑務所」訪問について  
九月十五日(水)、更生保護事業も裁判員制度の導入により、更生保護事業に携わる保護司に期待される事が多くなって来ています。

研修部会として、矯正施設を訪問。実態を見聞し、視野を広めながら今後の更生保護事業活動の参考にして、保護司としての任務である再犯や非行した人の指導・援助や犯罪予防活動と立ち直りを助ける一助になればと期待しています。

○広報部会

7月末日「射水更生保護」9号発行

○協力組織部会

●六月十二日(土)、大門総合会館に於いて部会を開催。―現状報告、更生保護協力雇用主会との学習会等について協議。

江尻副部長の提案により十月二十日(水)、雇用主会との刑務所見学及び総会、懇親会を実施する。

【日程】

午後一時・小杉庁舎へ集合(バスを利用)―富山刑務所を見学―四時三十分小杉庁舎着―総会・懇親会の開催

会場等は未定ですが、改めてご案内を申し上げます。ご多用の皆様と存じます。時間のつく限り、多くのご参集を願っております。

○地域活動部会

4月23日 地域活動部会・広報部会合同部会

6月3日 地域活動部会(高志会館)

○学校部会

4月26日 中学生生活体験発表の要項配布(中学校7校)

5月6日 中学生生活体験の審査委員長依頼(教育委員会)

12日 中学生生活体験発表表との打ち合せ(第一回)

25日 小杉中学校・午後五時中学生生活体験発表表との最終打ち合せ

6月9・10日 小杉中学校・午後五時作品コンテストの要項配布(学校長に参加依頼)

保護司の異動

○退任保護司

(平成二十二年五月二十四日付)

石丸 誓 史  
竹林 眞 昭

○新任保護司

永きに亘りご苦労さまでした。  
(平成二十二年五月二十五日付)

○おくやみ

名誉保護司  
平成二十二年五月 中田 昌夫

JR小杉駅前広告塔リニューアル



君の声を聴かせて。

社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

www.tokushu-npo.or.jp

社団法人 全国保護司連盟 更生保護法人 日本更生保護協会 主催 | 法務省 監修

編集後記

やっと九号の発刊にこぎつけました。「社会を明るくする運動」は今年度から副題として「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」という文言を添えることになりました。折しも、平成二十三年度に射水市で開催される富山県シンポジウムin射水のテーマは、「住みやすい地域社会づくりをめざして」と決定され、地域のチカラとリンクしています。保護司として「安全安心な社会」社会づくりを目指し何が出来るか? 思いを新たにしました次第です。(寺腰 記)